

当院の外科の特徴

当院には、世田谷区周辺の中核病院・地域医療支援病院としての責務を自覚し、地域の総合医療センターとして高度の医療機能を発揮することが求められています。

外科においては、主に悪性疾患の外科治療を行っていますが、EBM（根拠に基づいた医療）を基本に、高度の医療水準を満たすとともに、一人一人の患者さまのニーズを考えたオーダーメイド的なきめ細やかな医療の実践を心掛けています。

消化器のがんでは、早期がんから高度進行がんまで、それぞれのステージに対応した治療方針を立てています。手術治療に関しては、患者さまの負担を軽減するために低侵襲手術を実践していますが、当院で行う悪性疾患に対する腹腔鏡下手術の技量は、全国の主要施設と遜色ありません。

2015年4月に東京都がん診療連携協力病院に認定され、がんに対する診療体制も一層強化されました。カンサーボードの開催、がん患者相談支援センターの設置、がん看護相談、薬剤師外来、がんリハビリテーション、管理栄養士による栄養指導、がんサロンの開催、緩和ケアチームによるサポート体制の強化等、多職種でがんの患者さまを支援する体制が整備されています。治療後はがん連携クリニカルパスを用いて、かかりつけの先生方との医療連携も行っています。

また、虫垂炎、ヘルニア、胆石症といった消化器の一般的な疾患も数多く扱っています。さらに、腸閉塞や腹膜炎等の救急疾患に対する即応能力が高いことも当科の特徴で、手術が必要な患者さまの診断から治療まで迅速に対応しています。区民の皆様が安心して暮らせるための医療のセーフティネットの一助となれば幸いです。

消化器・一般外科医師紹介



統括部長
河原 正樹



部長
高田 厚



塩入 利一



児玉 俊



小河 晃士



小林 敦夫



叶多 寿史



李世翼



藤代 雅巳



野中 勇志



河合 宏美(非常勤)